

平成 23 年 3 月 7 日

厚生労働省 医政局 医事課
試験免許室長 赤熊 めいこ 様

社団法人日本作業療法士協会
会 長 中 村 春 基



第46回作業療法士国家試験問題について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃（社）日本作業療法士協会の活動につきまして、ご支援ご協力を賜り深く感謝いたしております。

さて、2月27日に実施されました第46回作業療法士国家試験問題につきまして、全国の作業療法士学校養成施設に問題の妥当性についてアンケート調査を実施しましたところ、「適切でないと思われる」とする回答がありましたので、それらの回答について次の3つの方針に基づいて検討を行いました。

- （1）全国の作業療法士学校養成施設から寄せられた「国家試験として適切でないと思われる問題」のみを検討の対象とすること。
- （2）当協会担当部署においてさらに検討を重ね、「国家試験として適切でないと思われる問題」に限定して意見を具申すること。
- （3）国家試験問題の範囲や難易度についての意見を具申するものではないこと。

その結果、設問内容の適切さ及び出題形式（図や設問の説明）について、再度検討をしていただきたく下記の意見を述べさせていただきます。また、特に検討していただきたい5つの問題（午前1問題、午後4問題）につきましては、別紙に内容を記載し、併せて具体的な理由を付記致しました。

謹 白

記

- I 複数の解が選択できると思われる5問題（午前50、午後7、16、35、39）、
について、複数の選択肢を正解とすることが望ましいと考える（別添資料参照）。
- II その他の意見
消去法や優先順位等から解は選べるものの、他の選択肢も該当する可能性のある1問題（午前63）、消去法や優先順位等から解は選べるものの該当する
と言い切れない1問題（午後68）があると考えます。

(平成 23 年 2 月 27 日実施)

午前 問題

問題番号 (50)

50 神経症性障害の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 解離性障害では健忘が生じる。
2. 強迫性障害では失声が生じる。
3. 社会恐怖では他人との会食を避ける。
4. 全般性不安障害ではパニック発作が生じる。
5. 外傷後ストレス障害は1か月以内に改善する。

解：1, 3, 4 (複数の解が選択できる)

理由

1, 3, 4については文献¹⁾の解離性障害 (p. 500)、社会恐怖 (p. 434)、全般性不安障害 (p. 455) により明らかに正しい。

したがって、複数の解が選択できる。

参考とする文献

- 1) 高橋三郎 他訳：DSM-IV-TR 精神疾患の診断・統計マニュアル。医学書院, p. 434, p. 455, p. 500, 2002.

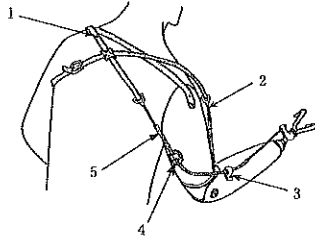
(平成 23 年 2 月 27 日実施)

午後 問題

問題番号 (7)

次の文により 6、7 の問いに答えよ。

24 歳の男性。農機具に巻き込まれて右上腕を切断した。断端長は標準断端である。図のような上腕義手を製作することとした。



7 この義手の適合検査結果で適合と判断されるのはどれか。

1. 肘 90° 屈曲位のコントロールケーブルシステムの効率判定が 85 %
2. 引っ張り荷重に対する安定性の判定でずれが 20 mm
3. 義手装着下垂時の長さが残存肢の環指と同じ長さ
4. 義手装着時の能動的肘屈曲が 100°
5. 口元での手先具の操作判定が 35 %

解：1, 2 (複数の解が選択できる)

理由

1は、正しい。

2は、ずれの基準を25mmとする文献^{1~4)}によれば正しいと判断できる。

したがって、複数の解が選択できる。

参考とする文献

- 1) 川村次郎 他編：義肢装具学 (第4版) . 医学書院, p. 98, 2009.
- 2) 社団法人 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書 第9巻 作業技術学1 義肢装具学 (第3版) . 協同医書出版, p. 49, 2009.
- 3) 日本義肢装具学会 監修：義肢学 (第2版) . 医歯薬出版, p. 330, 2010.
- 4) 澤村誠志：切断と義肢. 医歯薬出版, p. 183, 2007.

(平成23年2月27日実施)

午後 問題

問題番号 (16)

16 入院後2週間経過し作業療法が開始された。
この患者の作業療法導入時の対応で適切でないのはどれか。

1. 特定の相談相手を決める。
2. 作業療法の目標を話し合う。
3. チームで一貫した対応を行う。
4. 集団プログラムへの参加を促す。
5. 実施頻度と時間を明確に決める。

解：1, 4 (複数の解が選択できる)

理由

1の「特定の」という表現は限界設定のために担当者を明確にすることとは異なり、他のスタッフへの相談を禁止する表現として受けとれる。「対象操作に巻き込まれることを防ぐために一人で抱え込まない」¹⁾、「チームが相補的に機能することで有機的な治療構造が成立する」²⁾という境界性人格障害の治療原則に反するため適切でない。

また、4の導入時に集団プログラムへの参加を促すことは「作業療法の担当者を明確にした個人作業療法を基本とする」、「作業療法経過初期には依存と現実受容を程よく保つ『パラレルな個人作業療法』が基本構造となる」というプログラム立案の原則に反するため適切ではない^{2~4)}。

したがって、複数の解が選択できる。

参考とする文献

- 1) 山口芳文 編：作業療法学ゴールドマスターテキスト精神障害作業療法学. メジカルビュー社, p. 230, 2010.
- 2) 社団法人 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書 第5巻 作業治療学2 精神障害 (第2版). 協同医書出版, p. 80, 1999.
- 3) 社団法人 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書 第5巻 作業治療学2 精神障害 (第3版). 協同医書出版, pp. 162-163, 2010.
- 4) 朝田隆 他：精神疾患の理解と精神科作業療法. 中央法規出版, p. 187, 2005.

(平成23年2月27日実施)

午後 問題

問題番号 (35)

35 頸髄完全損傷患者（第5頸髄節まで機能残存）が可能な動作はどれか。

1. 便器上での自己導尿
2. 車椅子上での食事動作
3. ベッド上でのズボン着脱
4. 車椅子上での殿部除圧動作
5. 床から車椅子への移乗動作

解：2, 4（複数の解が選択できる）

理由

文献によると、頸髄完全損傷患者（第5頸髄節まで機能残存）は、車椅子上での食事動作^{1)~3)}、車椅子上での殿部除圧動作^{1)~3)}が可能である。

したがって、複数の解が選択できる。

参考とする文献

- 1) 岩崎テル子 編：標準作業療法学 身体機能作業療法学（第2版）．医学書院，p. 206, p. 209, 2011.
- 2) 石川齊，古川宏：図解 作業療法技術ガイド．文光堂，p. 346, p. 347, 1999.
- 3) 二瓶隆一 他編：頸髄損傷のリハビリテーション（第2版）．協同医書出版，p. 136, p. 159, 2007.

(平成23年2月27日実施)

午後 問題

問題番号 (39)

39 神経症性障害患者の作業療法で正しいのはどれか。

1. 心気症状への傾聴が重要となる。
2. 転換症状がある場合は行わない。
3. 強迫症状に対しては反復作業を用いる。
4. 不安発作が完全に消失するまでは行わない。
5. 離人症状では自傷行為の可能性を考慮する。

解：1, 5 (複数の解が選択できる)

理由

神経症性障害患者の作業療法において、「患者の訴えには真剣に耳を傾ける」¹⁾、「まずは患者の『訴え』に耳を傾け、不安や苦痛を感じとる受容的・支持的姿勢が重要」²⁾と明記されているため、1の選択肢は正しいと判断できる。

離人症状が強迫性障害でもみられ、強迫観念により稀ではあるが自傷行為につながることもあるとする文献³⁾があるため、離人症状で自傷行為の可能性を考慮するという5の選択肢も正しいとなる。

したがって、複数の解が選択できる。

参考とする文献

- 1) 朝田隆 他：精神疾患の理解と精神科作業療法. 中央法規出版, p. 161, 2005.
- 2) 社団法人 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書 第5巻 作業治療学2 精神障害 (第2版). 協同医書出版社, p. 93, 1999.
- 3) 社団法人 日本作業療法士協会 監修：作業療法学全書 第5巻 作業治療学2 精神障害 (第3版). 協同医書出版社, p. 153, 2010.